

23原機（大材）034
平成23年10月5日

文部科学省科学技術・学術政策局
原子力安全課原子力規制室長
吉田 九二三 殿

独立行政法人日本原子力研究開発機構
大洗研究開発センター
所長 鈴木 惣十

JMTR 原子炉建家に関する点検の状況について

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に関し、大洗研究開発センターに設置しているJMTR（材料試験炉）及びHTTR（高温工学試験研究炉）において、原子炉設置許可申請書または設計及び工事の方法の認可申請書に記載されている最大加速度を上回る値が観測されたことについては、平成23年9月16日に報告（23原機(安)078平成23年9月16日）したところである。

これらの原子炉施設については、地震後の点検を継続中であり、原子炉施設の運転に係る設備・機器等の機能に支障を及ぼす被害や施設外への放射性物質の漏えいが無いことは確認してきているが、JMTR 原子炉建家についての詳細目視点検の結果、平成23年9月27日に、屋根に梁の一部変形等があることが明らかになった。

これらの変形等は地震によって生じた可能性があるため、今後、詳細な調査を行う予定である。

添付資料 東北地方太平洋沖地震の影響に関する設備点検における
JMTR 原子炉建家屋根の梁の一部変形等について

以上

東北地方太平洋沖地震の影響に関する設備点検における
JMTR 原子炉建家屋根の梁の一部変形等について

1. 設備点検の状況

平成 23 年 3 月から JMTR 原子炉施設において、東北地方太平洋沖地震の影響に関する設備点検を実施してきた。原子炉建家については、3 月に外観点検、6 月に漏えい検査及び負圧確認検査による閉じ込め機能確認点検を実施し、問題がないことを確認してきた。

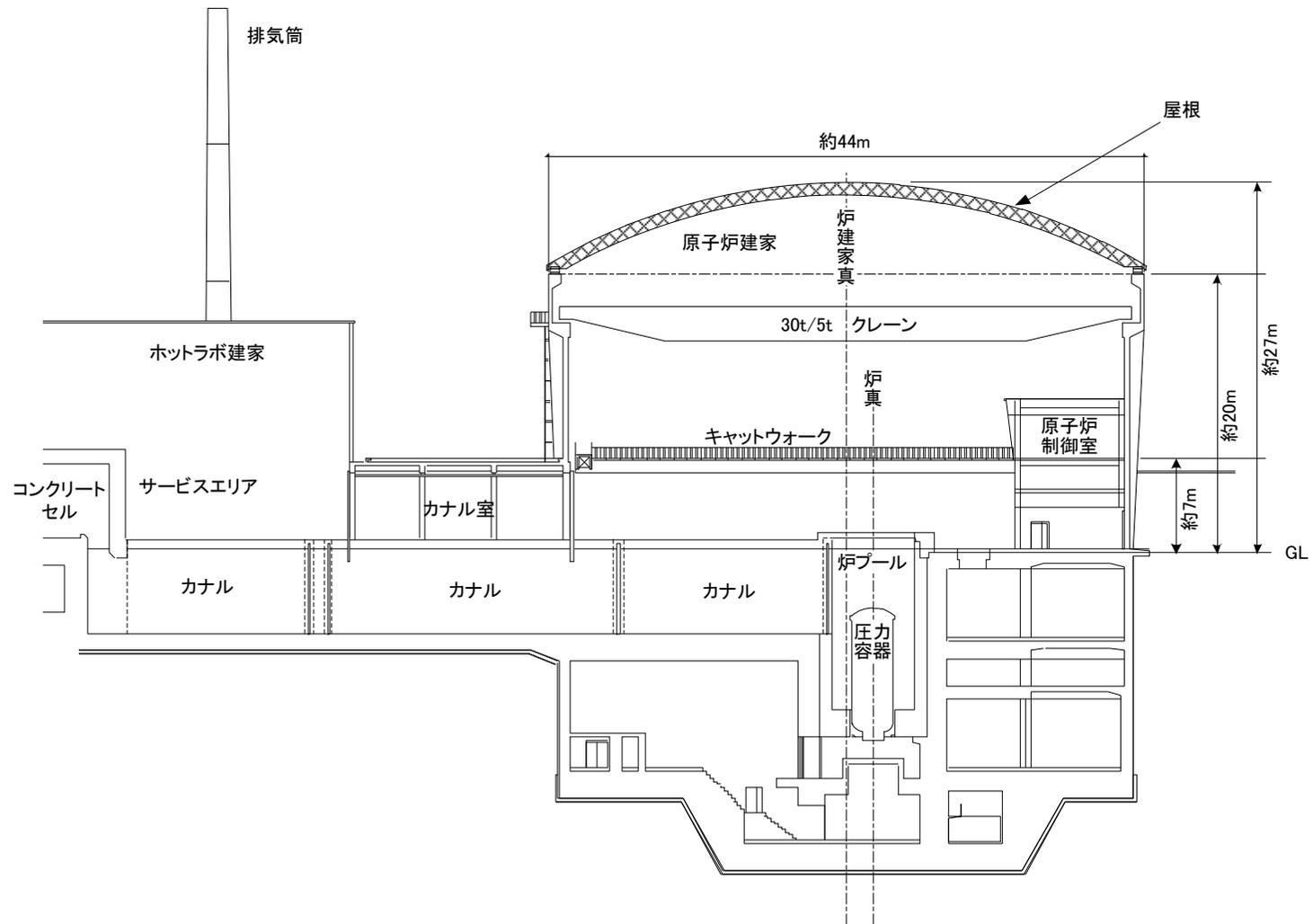
その後、9 月から原子炉建家の屋根の詳細目視点検を行った結果、屋根の梁の一部に変形等があることが 9 月 27 日に明らかになった。

2. 点検結果の概要

JMTR 原子炉建家断面図を図 1 に、屋根の構造を写真 1 に示す。原子炉建家は、地上 1 階、地下 4 階の鉄筋コンクリート造り、一部 2 階鉄骨造りであり、屋根は鋼管造鉄板張球面構造である。この JMTR 原子炉建家屋根についての詳細目視点検で、梁の一部に変形等が観察された。この梁の変形状況の一部を写真 2 に示す。

3. 今後の対応

この梁の一部変形等は原子炉建家の閉じ込め機能を損なうものではないが、地震によって生じた可能性があるため、今後、詳細な調査を行う予定である。詳細な調査では、変形量の測定、変形原因の確認及び補修等に係る対策検討を行う予定である。

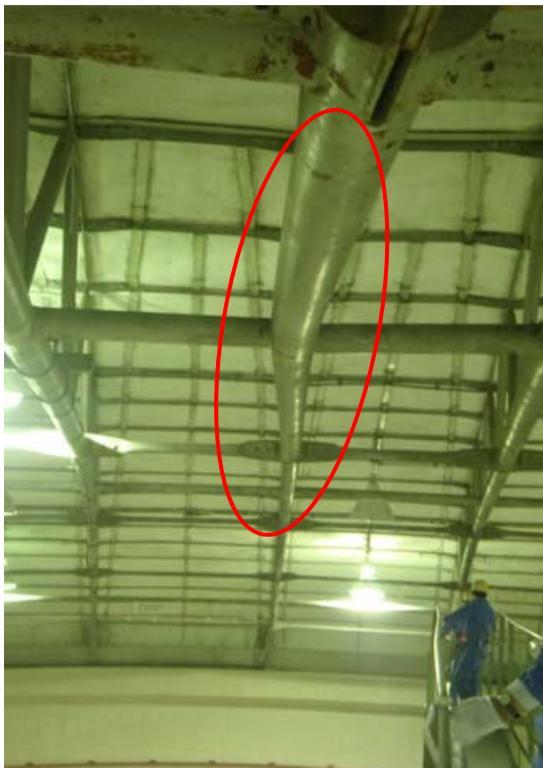


2

図1 JMTR 原子炉建家断面図



写真1 JMTR 原子炉建家の屋根の構造



(変形がある梁)



(変形がない梁)

写真2 屋根の梁の変形状況の一部